



木曽林務課だより

10月

木曽谷は秋、モミジの紅葉が素晴らしい御嶽山ろくの王滝村で行われた「炭焼き講習会」の様子を紹介します。

技術伝承のため「炭焼き講習会」が開催されました

木曽製炭振興協議会（協議会）では、様々な効能を持つ「炭」を焼く技術を後世に伝承していきたいと、毎年、秋に「炭焼き講習会」を開催しています。

今回は、10月19日（水）に王滝村で本格的な炭窯（すみがま）の見学とドラム缶を使った簡易炭窯づくりを体験しました。

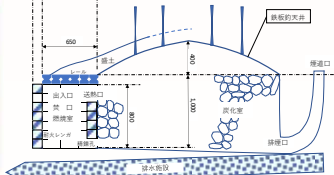
先人の技術のかたまりの本窯(ほんがま)

おんたけ名古屋市民休暇村のキャンプ場には、石や土を使って築造された炭窯があります。この炭窯の見学から講習会は始まりました。

この窯は、協議会の会員が協力して作り上げ、修理を加えながら15年以上も炭が焼かれています。半場協議会長から構造や築造時の苦労話、炭の種類や活用方法、木材を炭材として活用することで山の整備が進むことなど、様々なお話を聞きました。



炭窯の構造や炭の利用などの講義



設置前



炭窯づくり体験



完成



自分たちで炭窯づくりを体験

王滝村の滝越地区に移動し、「森きちオートキャンプ場」内にドラム缶を活用した簡易炭窯をつくりました。

今回は、窯づくりの一連の作業体験で、楯協議会副会長から構造と設置の仕方について説明を聞きながら、熱心に作業を行い約1時間半程度で完成までこぎつけました。

実際に焼くところまで行いたいという声もありましたが、ここまでで終了です。

今後はこのキャンプ場を管理する「合同会社Rext滝越」の皆さんがお客さんとともに活用することとなります。

木曽製炭振興協議会では、こうした地道な取り組みを繰り返し行うことで、地域の炭焼き技術の伝承や、里山の管理に再びつながっていくことを期待しています。